

# 1. 総合水試ふれあいフェアー “遊ぼう・学ぼう・お魚プラザ”

事務局：企画開発推進室

総合水産試験場は、「開かれた試験場」として水産業界の要望に即した試験研究を積極的に取り組むとともに、施設を広く県民へ開放し、特に次代を担う子供たちに対し、水産業への興味と理解を深めさせる役割を担っている。その一環として、10月21日（日）に長崎魚市場で開催された「長崎さかな祭り」と連携し、当事業「総合水試ふれあいフェアー」を開催した。フェアーには、あいにくの雨天にもかかわらず、小中学生を中心とした子供たちやその父兄など482人が魚市場と結んだ無料シャトルバス等を利用して来場し、非常に有意義な催しとなった。主なイベントの内容と来場者の様子などについてその概要を報告する。

## 1 イベント広場

種苗量産技術開発センター前の作業広場にテントを設営し、3つのコーナーを設けて、来場者参加・体験型のイベントを実施した。一部イベントについては本館棟内に場所を移して実施した。

### (1) お魚ふれあいコーナー

子供たちが、小型水槽に入れてある巻貝類やヒトデ、ナマコ、小魚など磯の水産生物に直にふれて、楽しそうに体験学習した。

来場者には、県内の種苗生産施設で生産されたアワビ稚貝の貝殻が記念品としてプレゼントされた。また、近年磯焼けの原因の一つとして問題になっている藻食性魚類のアイゴについて水槽展示等を行い、来場者の関心を集めていた。

### (2) お魚なぜなぜ〇×クイズ

雨天により中央広場が使用できなかったため、本館1階ロビーに会場を移し、参加者に水産関係の簡単なクイズに〇×で答えてもらった。

クイズは2回実施し、1回に20問出題した。参加者の多くが全問正解し、パーフェクト賞を獲得した。

### (3) ロープの結び方教室

日常生活で役に立ち、知っておくと便利なロープ

の結び方を実演指導する「ロープの結び方教室」を開設。参加者には、実際に結び方を担当者から学ぶとともに、帰ってからも練習できる様、わかりやすく図解したパンフレットと練習用ロープをプレゼントした。

## 2 調査船等の一般公開

水試調査船「鶴丸」（108トン）の一般公開を予定したが、雨天のために、浮き桟橋から船内への移動の際に転落等の危険を伴うと判断されたため、公開を中止した。

## 3 総合水産試験場の研究内容、コンピューターシステム等の紹介

本館研修室において、大型スクリーン映像による長崎県の水産業や総合水産試験場の役割と研究内容などのビデオ紹介を行った。

また、「水産関係コンピューターゲーム」を利用したコンピューター体験学習コーナーを開設し、子供たちの人気を博していた。

種苗放流コーナーでは、標識を装着した魚介類の水槽展示や、標識の展示を行い、また耳石やアワビの貝殻から年齢を推定する「魚や貝の年齢当て実習」を行い、来場者は熱心に実習していた。

研修室の廊下には、栽培漁業や資源管理型漁業、漁場環境調査などを紹介したパネルや調査機器、漁海況週報の歴史の展示、ケンサキイカ卵の標本展示等を行った。また、第22回全国豊かな海づくり大会における放流魚種の候補となっているトビウオの生態を紹介するパネルや標本等について展示を行った。

## 4 水産加工開発指導センターの紹介

加工センターの加工実験室を開放し、パネル展示による加工センターの業務内容や加工機器などの紹介、加工製品サンプルの展示などを行うとともにシ

イラ蒲鉾の試食コーナーが設けられた。

試食は好評で用意した数がまたたく間になくなった。

磯焼け対策の一環として加工センターで取り組んでいるアイゴのすり身等利用についても、蒲鉾等の試作品が展示され、関心を集めていた。

## 5 種苗量産技術開発センターの紹介

種苗量産棟の内部を開放し、生産している魚介類の親魚や稚魚などを収容した水槽を展示し、また、量産センターの役割や魚介類の種苗生産方法などを紹介したパネルにより見学者に理解を深めてもらった。

カンパチ親魚への給餌体験コーナーでは、楽しみながら子供達が餌やりを体験していた。

また、水中ロボット操縦体験コーナーでは、ROVを操作して簡単なゲームをやってもらい、ゲームをクリアした挑戦者には優秀賞をプレゼントした。

## 6 その他

### (1) 新調査指導船コーナー

本館ロビー内において、一般公募により船名を募

集した新調査指導船「ゆめとび」の紹介コーナーを設け、パネル展示を行った。来場者は水産試験場の歴代調査船や「ゆめとび」の諸機能などについて興味深げにパネルを閲覧していた。

### (2) その他

本館ロビーの大型円型水槽（5トン）や小型水槽による「長崎県のさかな」の観察・学習、展示室「まむ・ぱあく」(Marine Amusement Park)の5つのコーナーによるお魚クイズ、立体映像体験などに子供たちの関心が集まっていた。

また、各イベント会場に備えたスタンプを集めるスタンプラリーを実施し、全会場のスタンプをクリアした人に記念品を配布した。

今年のフェアは天候に恵まれず、例年の来場者数を大きく下回る結果となったが、雨天にもかかわらず来場いただいた方々には、イベントや展示への関心も高く、熱心に場内を見学いただけた。反省点もいろいろあるが、事前準備や開催当日における担当職員の努力もあり、来場された方々には喜んでいただけたものと思われる。

(担当：末廣)

## 2. 試験研究情報等の発信・収集事業

事務局：企画開発推進室

コンピュータシステムを利用して、人工衛星情報、水産研究文献情報、漁獲情報、魚病情報等の水産研究にとって有用な各種の情報を収集するとともに、「開かれた水産試験場」として、蓄積された情報をもとに各種情報の発信に努めた。

また今年度も、昨年に引き続き、漁業者と直接意見を交換し、現場のニーズに添った研究を行うことを目的に、移動水試等を開催した。

### 1) 試験研究情報の収集

#### (1) 人工衛星情報処理システム

人工衛星ノア12号、14号、15号より、九州近海の水温画像データをほぼ毎日受信した。得られた情報はただちに解析を行い、そのうちの一部のデータについてはFAX情報サービスシステムを通じて、情報提供を実施した。

平成13年度情報収集回数：のべ771回

#### (2) 文献データベース

主な水産関係の文献情報を118,583件収集し、データベース化を実施した。

文献データベース累積件数：765,562件

#### (3) 資源管理用漁獲統計データベース

県下各地の漁獲、水揚げについての詳細情報を漁獲情報のネットワークにより収集し、データベース化を実施した。

漁獲情報収集の対象地区は以下のとおり

( )内は地区数

長崎魚市場 (1)  
 佐世保市中央卸売市場 (1)  
 松浦地方卸売市場 (1)  
 厳原町漁協 (11) 本所, 久田,  
 浅藻, 豆酸, 久根浜, 佐須, 阿連, 曲,  
 久和, 内院, 瀬  
 上対馬町漁協 (8) 本所, 湾外,

比田勝, 泉, 豊, 鰐浦, 大河内, 唐舟志

峰町東部漁協 (1)  
 上対馬町南部漁協 (1)  
 老岐東部漁協 (1)  
 神部漁協 (1)  
 五島漁協 (3) 本所, 富江, 三井楽  
 上五島町漁協 (1)  
 奈留町漁協 (1)  
 有川町漁協 (1) 有川  
 新魚目町漁協 (1) 北魚目第一  
 小値賀漁協 (2) 本所, 斑  
 生月漁協 (1)  
 志々伎漁協 (2) 本所, 宮の浦  
 小佐々町漁協 (1)  
 鹿町町漁協 (1)  
 佐世保市相浦漁協 (1)  
 平戸漁協 (1)  
 新星鹿漁協 (1)  
 薄香漁協 (1)  
 大瀬戸町漁協 (1)  
 長崎市東部漁協 (1)  
 長崎市新三重漁協 (1)  
 長崎市西部漁協 (1)  
 茂木漁協 (1)  
 野母崎三和漁協 (4) 本所, 樺島,  
 脇岬, 野母  
 小浜漁協 (1)  
 橘湾中央漁協 (1)  
 島原市漁協 (1)  
 県まき網組合 (1)

平成9年7月よりシステムを稼働させ、収集が可能となった地区より、過去の情報も含めて全魚種・全漁法にわたるデータを蓄積した。

データ新規登録件数 合計 2,794,405 件

漁獲データベース累積件数 合計 22,086,095 件

#### (4) 魚病情報データベース

県下各地の魚病発生情報を収集し、データベースへの登録を 99 件実施した。

魚病データベース累積件数 合計 2,346 件

#### (5) 海況データベース

県下各海域の海況情報を収集し、データベースへの登録を 32,589 件実施した。

海況データベース登録件数 合計 124,193 件

### 2) 試験研究情報の発信

#### (1) インターネットによる情報発信

インターネット上にホームページを開設し、以下の情報の提供を実施した。

(ホームページの主な内容)

- 総合水産試験場の施設の紹介
- 各部署ごとの業務の紹介
- 事業報告書
- 活動状況報告書
- 漁海況情報
- 最新の試験研究話題のコーナー
- マリンラボニュース
- 水産関係リンクページ
- インターネットマムパーク

平成 13 年度来訪者アクセス回数 延べ 14,350 人

#### (2) 音声・FAX情報サービス

音声・FAX情報サービスの運用を行い、以下の情報の発信を行った。

- 漁海況情報
- 人工衛星による水温画像
- 定線観測情報
- 魚病情報
- 赤潮情報
- 最新試験研究情報
- 県内の漁具・漁法情報
- 長崎県水産試験場研究報告全文

システムによる情報発信件数 計 3,782 件

#### (3) 情報誌の発行

平成 14 年 3 月に「マリンラボ長崎だより」第 7

号を発行した。また平成 14 年 2 月に「事業の成果と取り組み事例」を発行し、移動総合水産試験場等で配付した。

### 3) 移動総合水産試験場の開催

漁業者と直接意見を交換し、現場のニーズに添った研究を行うことを目的に、壱岐地区移動総合水産試験場を開催した。

当日は活発な質疑が交わされ、また研究課題に対する意見や要望等も多く寄せられ、非常に有意義な催しとなった。



開催日：平成 14 年 2 月 22 日

参加者数：112 名

### 4) その他

#### (1) 科学技術フェアへの出展

試験研究の成果を県民に広く伝え、次代を担う子供たちに対し、水産業への興味と理解を深めさせることを目的に、平成 13 年 12 月 15、16 日に佐世保市ハウステンボスで開催された「こども科学フェスタ & 長崎県新エネルギーフェア」に出展した。

当日は「魚の赤ちゃんこんにちは」、「海藻麺の仕組み」の 2 ブースを出展し、好評を博した。

#### (2) 記者室投げ込み等

試験研究で得られた成果を、漁業者をはじめ県民に広く伝え、成果の普及を図ることを目的に、記者室投げ込み等の広報活動を行った。

平成 13 年度記者室投げ込み件数 11 件

(担当：末廣)

表1 総合水試 情報収集発信関係 実績

(H14. 3. 29)

●情報収集関係

	人工衛星情報 収集回数	文献データベース 登録件数	漁獲データベース 登録件数	魚病データベース 登録件数	海況データベース 登録件数
平成9年度	897	298,943	4,100,006	1,860	0
平成10年度	1,066	115,579	5,327,044	189	37,844
平成11年度	897	118,116	4,972,671	75	24,263
平成12年度	946	114,341	4,891,969	123	30,247
前年度まで	3,806	646,979	19,291,690	2,247	92,354
13年4月	115	8,654	135,142	1	4,986
13年5月	90	11,566	323,625	5	3,490
13年6月	86	8,579	336,757	12	2,806
13年7月	82	9,936	454,455	8	1,792
13年8月	71	12,142	264,238	9	3,381
13年9月	60	8,880	111,959	11	1,575
13年10月	(受信装置故障) 0	11,379	160,923	16	4,952
13年11月	70	8,464	113,042	12	3,414
13年12月	86	8,941	191,434	9	0
14年1月	105	12,221	111,772	6	0
14年2月	(受信装置故障) 0	9,376	370,803	5	3,421
14年3月	(受信装置故障) 6	8,445	220,255	5	2,772
平成13年度	771	118,583	2,794,405	99	32,589
13年4月	4,577	765,562	22,086,095	2,346	124,943

●情報発信関係

	インターネット (HomePage)訪問	音声・FAX情報 サービス利用件数	そ の 他
平成9年度	3,277	2,168	機関誌 2000 部
平成10年度	6,635	3,308	機関誌 2000 部
平成11年度	8,850	3,903	機関誌 2000 部
平成12年度	13,533	4,802	機関誌 1000 部
前年度まで	32,295	14,181	機関誌 7000 部
13年4月	1,175	351	
13年5月	1,218	344	
13年6月	1,554	351	
13年7月	1,378	417	
13年8月	1,258	333	
13年9月	1,114	263	
13年10月	1,293	316	
13年11月	1,000	355	
13年12月	1,012	331	
14年1月	1,184	239	
14年2月	1,090	240	情報誌 1000 部
14年3月	1,074	242	機関誌 1000 部
平成13年度	14,350	3,782	
13年4月	46,645	17,963	機関誌 9000 部